



# 議会だより

No. 28 2011年11月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 若井達男  
●編集：議会広報編集特別委員会



かみいづな  
上出浦稲刈り教室  
武蔵野市立第五小学校

9月24日  
53名が稲刈り体験

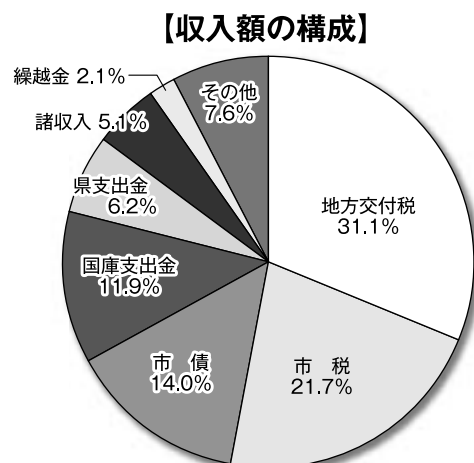
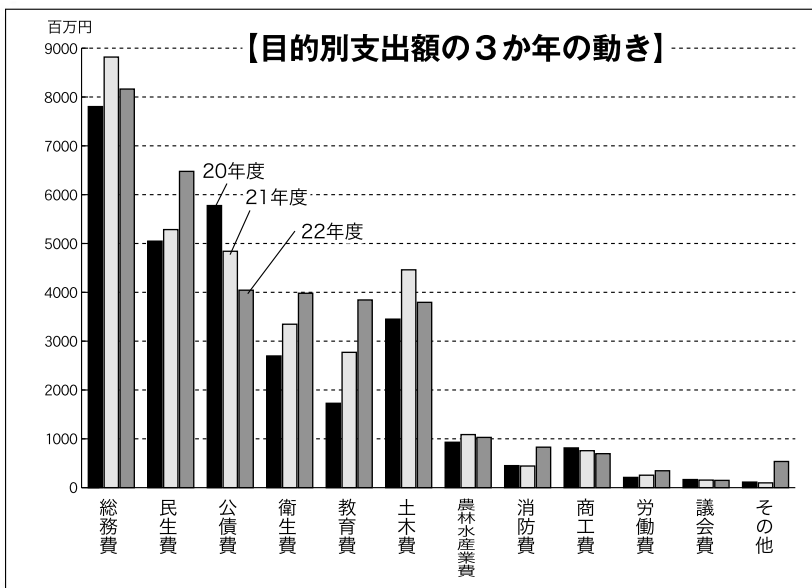
議事録等 詳細は...

南魚沼市議会

検索

平成22年度一般会計決算を認定しました.....	2 P
平成23年度一般会計補正予算可決 (豪雨災害等に73億円の災害復旧費を計上) ...	2 P
平成22年度一般会計決算質疑応答、討論.....	3～4 P
市長所信表明.....	5 P
一般質問 18名が市政を質す.....	6～14P
各常任委員会 管内&管外調査報告.....	15～17P
9月議会の全議決結果.....	18～19P
中越地区市議会合同議員研修会開催.....	20P

# 平成22年度 一般会計決算を認定 歳入346億9,168万円 歳出338億8,820万円



※一般会計決算認定及び特別会計の詳細は、市報(10/1号)をご覧ください

## 22年度の 主な事業

(万円未満切捨)

- 光ファイバー敷設工事……………7億2,771万円
- 庁舎整備事業……………1億2,145万円 (隣接の旧J Aビルを改造し、本庁舎北分館に)
- 子ども手当支給事業……………11億 191万円 (延べ対象児童78,176人)
- 子宮頸がん予防ワクチン接種助成……………393万円 (中学生女子対象…市単独事業)
- 住宅リフォーム事業補助金……………7,450万円 (933件分のリフォーム)
- 浦佐認定こども園建設……………5億8,646万円
- 斎場改築事業(昨年度繰越金)……………6億6,272万円
- 塩沢地区給食センター整備(昨年度繰越金)……………4億2,633万円
- 五十沢地区小学校統合整備(昨年度繰越金)……………6億3,586万円

## 平成23年度一般会計補正予算(第3号)

# 73億2,398万円追加し、 総額は382億8,152万円に

(万円未満切捨)



### 特別支援学校をH25年度開校

特別支援学校を市立で運営します。

場所は、南魚沼消防署前の職業訓練共同施設を一部改造し、市立として平成25年4月開校をめざします。

今回補正予算で1,650万円の設計業務委託料がつきましたが、改修工事は来年度予算になります。

### 【主な歳入】

- ・公共土木施設災害復旧費国庫負担金 …… 5億2,500万円
- ・災害救助法に基づく災害救助費負担金 …… 1億 600万円
- ・農林災害復旧事業県補助金 …… 42億7,527万円
- ・財政調整基金繰入金 …… 6億 円
- ・前年度純繰越金 …… 2億5,584万円
- ・市債 …… 12億5,550万円

### 【主な歳出】

- ・災害救助費(豪雨災害) …… 1億3,312万円
- ・治山振興費 …… 1億7,250万円
- ・豪雨災害農林施設応急復旧費 …… 1億 800万円
- ・豪雨災害その他一般施設応急復旧費 …… 3億5,317万円
- ・豪雨災害農林施設復旧費 …… 52億5,915万円
- ・豪雨災害土木施設復旧費 …… 9億2,800万円
- ・予備費 …… 1億3,829万円

# 決算質疑

(抜粋)

## 歳入

**質疑** 財政調整基金の利子収入の大幅減の理由は。

**答弁** 基金を崩し、繰上償還を行ったことにより利子収入は減った。

**質疑** 保育料の所得階層間の差が大きい箇所があるが、改善の必要はないか。

**答弁** 平成24年度の国の税制改正時点に対応できればと考えている。

**質疑** 直江兼続公伝世館の入込が減っているが、今後の運営はどうする。

**答弁** 女子力観光プロモーションチームから改善の提言を受けた。上田史談会

とも相談して館内史料を整理し、魅力ある方向を見出していきたい。



伝世館（銭淵公園内）

## 歳出

### 総務費

**質疑** 市民カードの暗証番号を登録すれば自動交付機システムで証明書を発行できる。暗証番号の登録促進を図り、自動交付機を有効利用すべきでないか。

**答弁** 暗証番号登録による自

動交付機利用のPRに努めている。引き続き対応していく。

**質疑** コンビニ収納の効果は上がっているか。更に各種カードでの納税ができるようにできないか。

**答弁** コンビニ収納を始めて、収納額は前年度より1億2千万円増加となっており、効果は大きいと考えている。カード収納については検討し、可能であれば導入していきたい。

**質疑** 本庁舎北分館（旧JAビル）の事務室が狭い。新築の方が良かったのではないか。北分館1階のJAへの賃貸料の額は。

**答弁** 新築は想定せず、北分館の総改修費は2億1千万円。借地料は年78万円支払い、賃貸料として、年360万円入る。

児童保育は空き教室利用を進めるべきでないか。

**答弁** できれば空き教室を使えばと思うが、空き教室があっても既に他に利用したり、特別支援学級を今後増やす方向もある。

**質疑** 生活保護費がここ数年増えているが、その背景は。

**答弁** 不況の影響で増えている。また、資産がない転入者の割合が増え、支援する身内も少なくなった傾向もあるのではないか。

**質疑** 地下水熱を利用した屋根融雪実験の結果と、六日町上町のエコ住宅の実



上町エコ住宅（六日町）

証実験はどうだったか。

**答弁** 西泉田集会所の屋根融雪の実験結果は山形大学で分析中であるが、地下水熱は今年のようなドカ雪には弱いようだ。エコ住宅のソーラーパネルのつなぎ目に段差ができ雪が落下せず発電しなかった。この点は改良する。

### 農林水産費

**質疑** 県のクマの年間捕獲計画が128頭に対して、市だけで捕獲数が62頭だったが、県の年間計画と調整が必要だ。

**答弁** サル、イノシシも併せて、県と連絡を取りながら進める。

**質疑** 農地法の改正で農業委員の仕事が増え、協力員を採用して耕作放棄地の調査をしたが、その結果は。

**答弁** 協力員12名を委嘱し調

査を行った。結果は農地復帰は無理が6・8町歩、軽く手を入れれば復帰が13・3町歩、すぐ復帰可能が12町歩だった。

**質疑** 中核農家等への農地集積は進んでいるか。

**答弁** 全農地に対して集積率は21年度38%、22年度は43%と伸びている。

**質疑** 「農地・水・環境保全向上事業」で欠之上集落が表彰を受けたが、国県の補助がなくなれば、事業はどうなる。

**答弁** 集落の環境維持等考えると良い事業だ。今後この事業が継続可能か検討する。

### 商工費

**質疑** 上の原のFIVB体育館の維持管理と賃貸料ははどうなっているか。

**答弁** 維持管理はNPOでや



FIVB 体育館（上の原）

〔質疑〕

兼統通りの武者立像は漫画チックすぎるが、今後さらに設置するののか。

〔答弁〕

愛プロジェクト事業の中で10体中5体設置し、残りは今後愛プロジェクトで検討していく。観光客の流れを良くする目的で商店街と協議して設置。若者にはウケている。今後に期待したい。

っているが、不況の影響もあり、体育館の賃貸料はまだ入っていない。

土木費

〔質疑〕

橋の長寿命化調査を実施しているが、総額でどのくらいの修繕費を予想しているのか。

〔答弁〕

橋の長寿命化対策をしなければ数十億円かかる。そのために計画的に修繕して橋の延命を図りたい。



兼統通りに設置された武者立像

〔答弁〕

あと1〜2回でほぼ策定委員会の業務は終わり、その後審議会上げ、更に審議会では3月までに教育委員会に答申する予定だ。

〔質疑〕

六日町給食センター改修設計は、市内業者を始めから排除していないか。

〔答弁〕

内部構造に合った改修なので専門的な視点が必要だった。今まで職員が見積もりをしたが、今回は外部に設計委託した。公平な入札の結果、業者が決まったと考えている。

〔質疑〕

各中学校に配置している「心の教室相談員」の勤務形態は週8時間だが生徒との信頼関係を築くためにも充実が必要でないか。

〔答弁〕

子ども・若者育成支援センターのこども班のスタッフが重点的に入り込む体制をとっているが、今後検討していきたい。

原案反対

（日本共産党議員団）

22年度は市税収が落ち込み、収入未済額は増えている。このことは市民の生活が困窮度を増したものと思う。住宅リフォームや子宮頸がん予防ワクチンの取り組みは評価するが、署名行動もあつたように大原運動公園の野球場に関しては、これからの子ども達のためとはいえ、雪国にこれほどのものは無駄だと思う。税金の使い方として、水道料、国保税のためなど安心して暮らせる部分に使って欲しい。そういう部分が見られないため反対。

平成22年度一般会計決算

討論

原案賛成

（歩む会）

政権交代から2年。制度、法律が変わった中で22年度はしっかりやってもらった。財政調整基金も積めたし、災害対応も職員一丸となつてよくやったと思う。無駄な公共事業はないわけで今後も一生懸命やってもらうためにも決算に賛成。

原案賛成

（南魚沼みらいクラブ）

歳入は厳しい経済環境の中で、よく踏みとどまったと思う。歳出も主要施策は計画的に執行され、執行率もその努力の現れと思う。財政健全化計画の達成は評価するし、財政調整基金を着実に積んできたため災害にも対応できたのだと思う。

総括して、経費を抑制しながら市民生活の低下を招くことなく、行財政改革を着実に進め、福祉、教育等成果が見られたことを評価し賛成。

原案賛成

（市政クラブ）

日本経済が円高基調の厳しい中で、特に法人税の15・3%の伸びは、積極型予算の成果だと思ふ。歳出も効率的に取り組み、土地開発公社からの土地買戻し、城内診療所の特別会計化など長年の懸案事項も英断をもって解決したこと、また実質公債費比率もまだ決して低いとは言われないが下がっていること、財政健全化計画も不満な部分もあるが全体として103%の達成などは評価できる。市税の収納率向上に一層の努力を望みます。

原案賛成

（市民クラブ）

22年度は、減債基金の積立で、土地開発公社からの買戻し、城内診療所の清算などに加え、子育て支援事業、住宅リフォーム事業、斎場改築、塩沢給食センター、統合五十沢小学校等大型建設事業の実施、更には地球温暖化対策実行計画の策定などを行いなから、財政健全化計画の103%達成は評価する。しかし市税は減少傾向、財政力指数、経常収支比率はまだ悪い。自前の財源確保と簡素で効率的な組織づくりを進め、多様な市民要望に応えるために不転の決意で臨むことを期待して賛成。

# 市長所信表明

(抜粋)



## 産業振興

商工業関係でありませんが、旧西五十沢小学校に企業進出する日本電産コパル精密部品株式会社と7月1日に「企業立地に関する基本協定書」の調印を行いました。

## 環境共生

可燃ごみ処理施設の焼却灰から放射性物質が検出された問題で、受入先の福岡県大牟田市の三池製錬株式会社から8月22日、受入休止の通知がありましたので、今後の対応について現在、検討しております。

## 都市基盤

住宅リフォーム事業につきましましては、申請受付件数1,028件、補助予定金額7,868万円、申請工事の総事業費は9億3,526万円で経済波及効果として11・9倍と評価しております。

## 教育・文化

特別支援学校の設置につきましては、南魚沼消防署前の南魚沼市職業訓練共同施設の余裕教室を活用し、一部改造や共用により、市立として平成25年4月

## 平成22年度決算

一般会計決算につきましては、繰越明許費繰越額を含んだ形式収支は8億349万円となりましたが、繰越財源を除いた実質収支額は、4億1,765万円となりました。減債基金への積立4億2,747万円、土地開発公社からの土地買戻し5億2,392万円、城内診療所の清算3億6,684万円など将来負担を減ずる措置を講ずることができました。

## 行財政改革 市民参画

消防庁舎建設につきましては、庁舎本体が完成し、9月1日から新庁舎において業務を開始いたしました。

## 都市基盤

市政懇談会につきましては、4月27日から7月5日までの約2か月にわたり、16会場で開催し、計566人の皆様から参加をいただきました。

# 7月の豪雨災害について

(市長所信表明より)

このたびの新潟・福島豪雨災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市では、7月28日午後8時に災害対策本部を設置し、災害対応を行ってまいりましたが、8月1日午前9時には南魚沼市災害復旧本部に切り替え、災害復旧対応に当たっております。

土砂流入、浸水や一部冠水、用排水路、頭首工、農道、農作物等に甚大な被害がありました。

土木関連では、道路の崩落・土砂流入、河川の護岸欠陥・氾濫など公共土木施設に甚大な被害を受けました。特に小川、土沢、清水瀬の各集落は大規模な土石流が発生したことから、「土石流監視機器(ワイヤーセンサー)」を設置し、2次災害への対応を行いました。

消防本部では、五十沢地内で釣り人2名の救助をはじめ、31日までの4日間で23件の救助活動により101人を救助いたしました。

上水道関係では、取水する原水に極度の濁りが発生し一時的に水道水を作る事ができない状況となり、市内約6,000戸が断水する事態となりました。一部の地域の皆様には大変ご不便をおかけいたしました。

農業者の皆様には大変ご不便をおかけいたしました。農業関係では、農地への



# 次期行革推進は安全、産業復興優先に

**答** 安全対策を  
ないがしろにはしない



佐藤 剛 議員

東日本大震災、豪雨災害を受け、防災、生命の安全、産業復興対策が優先される状況になった。この大災害の対応で、国

家財政の悪化、地方財政への影響が懸念される。合併特例期間も終わりが近い。今後の税収増は期待できない。となれば、大原運動公園整備など合併特例債事業と言えども、当面の整備内容は抑え、今後に拡充可能な形で考えるべきでないか。「今、何をやらなければならぬか」という視点で、行革を推進し財政基盤を整え少しでも財源を作り安全対策、復興に取り組む市

の姿勢が今大切でないか。**市長** 行革推進で最小経費で最大効果の行政運営をめざす。安全対策をないがしろにしないが、大原運動公園整備に限らず、必要があるなら、「今やらなくて後日対応」ではかえって非効率だと考える。

**市長** 浦佐川西地区は、雪国おくにじまん会館、普光寺、浦佐駅を避難先に検討したい。警戒区域指定で住民に防災の呼びかけと、施設整備は数が膨大だが県に対応を求めている。



浦佐地区洪水ハザードマップ

# 新潟・福島豪雨災害復旧対策は

**答** 原形復旧が原則だ



牛木芳雄 議員

今回の豪雨災害で山間地、沢地の田畑の被害も多かった。営農する人たちにとって復旧の如何によつては営農の継続が難

しい状態だ。そこで、復旧はもとより災害の起こらない方策、耕地整理も可能か。

**市長**

原形復旧が原則で一概に言えないが、現場により対応し予防も含めてできるところは対応をした。本人希望で不整理田をまとめることは可能だが、当然個人負担は発生する。

## 特別支援学校を市立で設置

市では南魚沼市職業訓練共同施設の空き教室を利用し、平成25年4月に市立特別支援学校の開校を目指すとしているが、次の点を伺う。  
①教育環境をどこまで整備していくのか。  
②高校卒業後、就職、自立という面でどこまで市は関わっていくのか。

**教育長**

①エレベータの設置、階段の改修、小体育館、水と親しめる小プール、緑地の確保、車いす対応のバスを導入する。  
②職業教育で特色を出していきたい。就労、社会参加を目指したい。そのための教育課程を特別に編成する。隣接する職業訓練校を活用したい。



豪雨災害状況



特別支援学校予定地

## 市役所及び主要公共施設 に国旗と市旗の掲揚を

**答** 国旗は祝日のみ玄関に掲揚



腰越 晃 議員

1999年、日本の長い歴史の中で、初めて国旗が法制化され日章旗が日本の国旗となった。現在、南魚沼市では市

役所はじめ公共施設には、日章旗も南魚沼市旗も掲揚されていない。

太陽を描いた旗が使用されて1400年、この長い歴史の中には、良いことも悪いことも、誤ったこともあった。そうした歴史の重さを素直に受け入れ、日本国家に誇りと責任を持ち、新たな時代の平和国家としての国づくりに進んでいくべきである。

現在多くの市役所に日

章旗と自治体の旗が掲揚されており、清々しい思いで見えてきた。

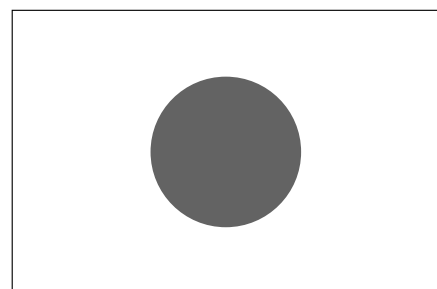
南魚沼市も日本国を構成する一公共団体として、日章旗と市旗を掲揚すべきである。

**市長**

国旗国歌については教育界などで議論があり、訴訟問題にもなっている。国旗国歌法は、国旗を日章旗とすることはうたっているが、その掲揚について規定はない。

現状では、祝日に市役所本庁舎玄関、塩沢市民センター玄関に国旗を掲揚しており、その範囲である。

南魚沼市旗は枚数が足りないだけなので数を増やせばいつでも掲揚可能である。



がんばろう日本！

## 塩沢商工に 土木科を作っては

**答** 県に相談をしたい



塩谷 寿雄 議員

新潟県には土木科がある学校は7校だが、長岡から魚沼管内はない。この地域において土木業はなくてはならない業種だ

と思う。また地域の技術者育成のためにも必要だ。県に要望してはどうか。

**市長**

この地域に必要な分野であり、県にも相談したい。

## 障がい者日中一時 支援事業の拡大を

現在、まきはたの里で事業が実施されているが、要望者が多い。事業の拡充を図る事と中心市街地での検討はどうか。この

事業の負担に対し、自立支援法で原則1割の負担だが、施行から年数が経ち応益負担から応能負担に変わりつつある。負担等の軽減は考えられるか。

**市長**

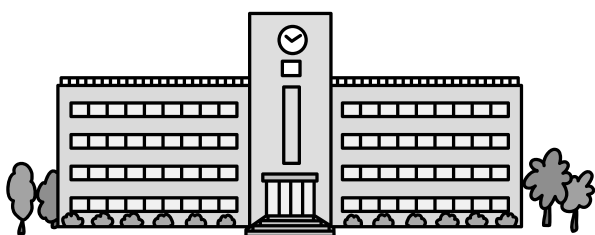
状況は把握はしている。24年度どう対応できるか検討している。25年度開校予定の特別支援学校の中でも考えていきたい。

## 市内にデマンド型乗合タクシーの運行をしては

利用者が少ない路線・福祉バスが多い。そこに補助金を入れるより、市民の生活交通の充実、効率化（病院、子どもの送迎）に、目的地にピンポイントで行けるタクシー導入の考えはないか。

**市長**

デマンドタクシーは今考えていないが、新しい市の公共交通のあり方を考えている。



# 放射線量の測定で 安心・安全を

**答** 測定器2台を購入  
防災計画の策定をめざす



**岡村 雅夫 議員**

小中学校と保育園の15  
地点で0・3μSv/hを  
上回った。畔地浄水場の  
脱水汚泥で2、700Bq  
/kgが検出され保管。3

- ① 汚染の実態の把握は。
  - ② 測定器購入で市民サーピスを。
  - ③ 健康被害対策は。
  - ④ 放射能の恐ろしさを知らせる努力が必要。
  - ⑤ 柏崎・刈羽原発事故を想定した取り組みは。
- 市長**
- ① 広く分布しているのは事実。公的部分は定期的に測定する。
  - ② 2台購入し、結果は公表する。
  - ③ 県の勉強会に参加中。安定ヨウ素剤の備蓄は想定していない。
  - ④ 健康利用も併せ教育に取り入れる。
  - ⑤ 原子力に関する防災計画策定をめざす。

- 保育行政について**
- ① 職員の駐車場の確保、送迎時の安全対策は大丈夫か。
  - ② 保育園により延長・受入れ年齢等内容が違つ。預ける立場にたつての対応が必要だ。
  - ③ 父母に一定の収入がない場合、家計の主業者の所得税・市民税で保育料を決める根拠は。
- 市長**
- ① 近隣に相談して確保する。消雪施設のないところは改善する。
  - ② 希望を見て検討する。
  - ③ 一家庭内のこと、日本のよき伝統だ。考え方を確認し議論していく。



放射線測定器

# 市立病院をもつこと の覚悟を示せ

**答** お金はかかっても  
市で運営していく



**寺口 友彦 議員**

市の医療保健基本計画に基づき医療行政が行われている。市立病院をもつことはその延長線上にある。自治体病院は不採

算部門も引き受けなければいけない。医師・看護師の人材確保には、公務員という身分でないと解決できない。病院という企業にはかなりの財政支援をして維持するという覚悟が必要だ。

**市長**

平成20年2月に全て市立でやると発言した通りだ。病院改革プランに沿って経営改善されると信じる。人件費は非常勤が多く、比率は高い。公務

## 水害対応から 何を学んだか

未曾有の大水害は想定外であった。自主防災組織による自主避難が功を奏して人的被害はほとんどなかった。天災を人災にしないために情報管理が大切だ。本部からの指令発信は機敏でなければ

**市長**

被害状況等の情報発信が初動期から中期にかけて少なかった。リサイクルセンターの浸水は手帳書に不備があった。マニュアルを地元の皆さんと協議して作成していく。上越線について安全判断の発信は現場を見てからするべきだった。



六日町病院



## 当市の基幹産業を 守れ

**答** あらゆる手段を駆使し  
積極的に支援策を出す



中沢 一博 議員

当市の基幹産業は7月の豪雨災害で岐路に立たされている。その中で商工観光産業は激甚災害補助対象外であり、とりわ

けスキー産業への支援策は全く見えて来ない。経済・雇用に甚大な影響を及ぼしかねない。国県への働き掛けはどうなっているか。資金繰り支援の拡充強化、税制面の軽減措置に一步踏み込めないか。

**市長** スキー産業は当市の一番大事な部分でもあり、国県へ要望した中であらゆる手段を駆使し積極的な補助支援策を出している。

金融制度は、信用保証料の金額免除で対応する。税金の減免制度も行う。各スキー場代表者と協議した中で、復旧工事は9月末までに方向性を出したい。市で単費で助成する事も考えているので補正予算で計上したい。

### 就活手当の創設は

大学の就職内定率が過去最悪を記録し、就職活動が長期化する中で、学

生側にとつても経済的負担の増大は切実な問題だ。南魚沼市の未来を託す若者に、就職活動にかかる費用負担を軽減する「就活手当」を創設し、南魚沼市の人材へ雇用強化の考えは。

**市長** Uターン、Iターンの動機づけ支援として、何らかの形で検討し、進めていく。

## 放射線への対応は

**答** 今後とも調査する



牧野 晶 議員

現在の南魚沼での空間線量や、普段生活している場所については心配していないが、放射線物質が溜まりやすいとされる

側溝等の対処を見て、心配する市民や保護者が増えている。

**市長** ①今後もしていく。②公園等は調査し、問題なかった。農地等は広大な面積であり、すべての調査はできない。必要な場合は個別に対応していく。③市独自の購入はせず、県等の調査に拠る。いろいろな作物の調査をしているが、すべてから放射線は検出されていない。大丈夫だと考えている。

側溝等の対処を見て、心配する市民や保護者が増えている。

①学校等の汚泥を除去した箇所は、今後とも調査するの。

②市内の施設や個人宅、農地なども調査すべきではないか。

③当市でも、食品計測器を購入するべきではないか。



校庭での放射線量測定



## 介護者支援制度の確立を

**答** 社会福祉協議会と共に支援を進める



山田 勝 議員

旧来は家庭内で介護をする事が常識であったが、保険・医療・福祉を一体化させた大和方式は「社会的介護」へと常識を大

きく変換させてきた。

しかし、高齢者の急増、財政問題により、安心システムを確立しないまま国は介護の現場を家庭内にふたたび戻してしまつた。時には介護疲れによる不幸な記事を目にすることもある。

介護保険法に始まつた被介護者に対する支援制度は不十分なから進められてきたが、介護する人（ケアラー）への政策対応は現在全くなされてい

ない。ケアラー支援のため市民参加型の公共サービスで新しい介護の常識の構築をすべき。

### 市長

介護保険法施行から10年が経ち施設や支援センターで対応しているが追いつかない状況だ。団塊の世代も高齢化を迎え要介護者も飛躍的に増える。①特にケアラーから要望の多い緊急時対応を社会福祉協議会と協力し、

策定中である。

②家庭介護の支援団体と包括支援センターを中心として家族介護継続支援事業をいっそう充実するよう進める。

③相談窓口としての包括支援センターと社会福祉協議会について、更に周知広報が必要と考える。

④策定中の第5期介護保険計画で家族介護の負担軽減のための支援をしたい。

## 繰り返す自然災害の対応は

**答** まずは自主避難。地域ぐるみの防災体制を



井上 智明 議員

「人類の文明はエネルギーを消費し発展し続けてきた。反面それは地球環境を汚染する歴史でもあつた」(コア元米副大

### 統領

地球環境の変化から大災害が繰り返し起きる時代となり、しかも過去の記憶や記録による想定を大きく超える事が大きな特徴だ。東日本大震災の大津波や台風15号の豪雨災害のように、その規模の予知や想定は極めて困難である。

②身を守るための避難は公の指示と併せ、自主避難を。  
③災害に対応する教育など啓発活動を。

### 市長

①災害時に人員が不足することは承知しているが、OBの活用は事故対応など難しい問題が多い。現在は各地域で自主防災組織などでの活動を望むが、今後とも研究していきたい。

きる災害に的確な避難指示を出すことは非常に難しい。地域住民の情報が一番確かである。自分の身を守るために、公の指示を待つのではなく、自主的な避難が大切だと周知したい。

③現在も色々な場面を通じて防災活動を行っている。今後も職員、市民も含めて各種訓練や集会などを通じ、防災活動に努めていきたい。



泉盛寺の災害現場



介護現場

## 行政改革大綱の 進捗評価は

**答** まだ一里塚である



桑原 圭美 議員

**問** 行政改革大綱の進捗の評価は。

**答** (市長) 財政健全化計画の目標数値は上回ったが、まだ一里塚である。

**問** 災害時の職員の対応は良かったが、今後の職員の人材育成の方針は。

**答** 採用時に面接等で人間性を重視したい。難しい事だが専門性と幅広い知識を兼ね備えた職員を育てていく。

悪質なケースには差押さえ等の措置を行う。

**問** 今後の都市計画税の方向性は。

**答** 直ちに廃止した場合、特定者への負担が増加する。代替財源を検討し、廃止の方向で見直す。

**問** 特例優遇措置終了後の税収の減少対策は。

**答** コパルの進出は大きい。産業（林業）の起業や企業誘致に知恵を出していきたい。

**問** 地域性を鑑み、投資的事業は減少させるべきではないと考えるが。

**答** 市民生活に不安が生じないように、必要な部分には合併特例債を有効に活用していく。

## 観光災害の復旧制度 不備を是正せよ

**答** 全く理不尽。国に対し改善を強く求めていく



林 茂男 議員

**問** 被災した民間の観光施設は、災害復旧適用の対象外となる。全く制度がそれを補完していない。国へ制度の不備

改善を求めるべきだ。

**問** 疲弊している地元の各観光協会などの再興への支援策が火急課題だ。

**答** チロルに学び、花々の溢れるまちづくりを。個人宅や施設などの美化を競い合うコンテストを。また、南魚沼風景百選の取り組みを。

**問** 統一感のある観光看板の整備を。国交省と連携を図り、国道などの交通案内標識に固有の「観光名称」の表示を。

陸上競技場と体育館の建設への市民要望は大だ。野球場問題などがありタブーめいた空気もあるが、検討に入れないか。

**市長**

**答** 理不尽さを痛感している。水道や病院事業等の市公営企業、簡易水道などもそうだ。縦割り行政の弊害だ。改善を国、県に対し強く求めていく。

**問** 各団体の通常運営には

難しいが、提案事業には支援、対応する。

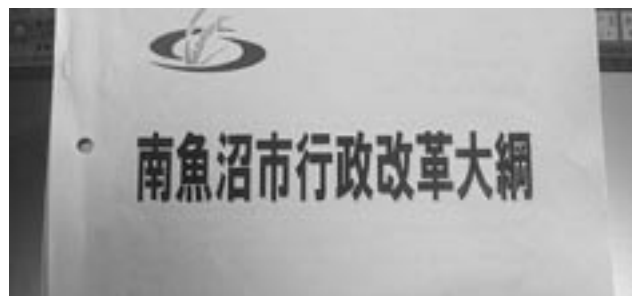
**問** 関係団体と協議し持続可能な市民参加型のイベントを検討したい。

**答** 現在、県や雪国観光圏推進協議会と協力して、統一した案内看板の設置に向けて検討を重ねている。国も柔軟に考えている。

**問** タブー視はしていない。今後、相当の議論を積み重ねていかなければならない。



土砂災害にあった上越国際スキー場の観光施設



# 7月の豪雨災害に 関連して

**答** 開発センターの防災機能は  
コミュニティの改善含め検討

今井久美 議員



**問** 地域防災の絆を強く  
していくためにも「開発  
センター」機能の充実を  
図っていくべきだ。  
**答** (市長) 今回の災害

は地域の絆により、人命  
への影響なく各組織が良  
く機能した。コミュニティ  
を築いていくことが大  
切だ。今のセンターが地  
区防災の拠点となるのは  
難しい。コミュニティの  
改善含め検討していく。

**問** 「災害予備費」の当  
初予算への計上を。

**答** 予備費は常に災害を  
想定。額の多少に係わら  
ず緊急の措置は行い、支  
出行為のできるよう専決

処分をお願いしていく。

**問** 過去の災害から個人  
部分への土砂撤去などを  
公費で対応できるか苦慮  
する。大災害時の個人部  
分への公費投入は市とし  
てあると考えていいか。

**答** 大災害時には概ね、  
その方向でいい。

**問** 災害想定、時間も伏  
せられた緊急性のある  
「防災訓練」の実施が必  
要だ。

**答** 今の訓練について、  
いろいろな意見はあるが、  
基礎的な事なので積み重  
ねを真剣にやっっていく。

**問** 本復旧だけでなく、  
国県に危険箇所調査、  
対応のため公共投資の必  
要性を求めていくべき。

**答** 原形復旧が基本であ  
るが、危険予防の対処も  
やっっていく。公共投資は  
悪のような風潮もあるが、  
危険箇所の早期着工は強  
く国県に求めていく。

# 豪雨災害対策は

**答** 山地崩壊防止のために  
治山事業を行う

関 常幸 議員



7月28日から8月7日  
まで、浦佐の災害対応に  
当たっていたので、8月  
11日の災害現地巡回で六  
日町、塩沢の被害の大き

さにびっくりした。

登川堤防の決壊、泉盛  
寺の土砂流出、樺野沢・  
上越国際スキー場の惨状、  
五十沢キャンプ場の道路  
の崩落寸断。小川、土沢  
の土砂崩れと大惨事を前  
に声が出なかつた。

7月30日の早朝、黒沢  
の土石流が川を埋め、山  
のような土石流を見、そ  
して、真っ赤な泥水が町  
内を埋め尽くした様子は、  
お盆を迎えられるのかと  
思った。

お盆を迎えられたのは、

大和庁舎の確な対応と  
消防団、大和建設企業  
体の支援のおかげだ。本  
当にありがとうございま  
した。

そこで3点伺う。  
①魚野川が氾濫すると南  
魚沼市で市街地が水没  
するのは浦佐地域だけ  
だがその対策は（外水  
氾濫）。  
②土石流で流木が魚野川  
の水門をふさぎ、5日  
間浸水した。その排水

対策は（内水氾濫）。

③FMゆきぐに(フジオ)  
の電波（災害情報）が  
届かない事への対応は、

①越水しないように国に  
求めるが、当面は水位  
を注視し命を守るため  
に避難勧告を早く出す。  
②樋管の断面を大きくす  
るよう要望する。山  
地崩壊防止のために治  
山事業を行う。  
③受信アンテナの設置に  
向けて検討している。



豪雨による浸水（浦佐新町）



災害時、消防団の活動状況

# 来年以降の米の作付けは

**答** 地域間調整に頼るより  
需要を増やしたい



黒滝松男 議員

7月の新潟・福島豪雨災害で水稲では281ヘクタールに土砂流入等があり、被害額で3億9千万円との報告があった。

来年の作付けに間に合わせるよう、復旧は市が責任を持って最大限努力すると決意を示された。今年度の地域間調整は、

佐賀県が見込みより大幅に減ったが、東北被災地県から2千トン強引き受け、前年並みの作付けができた。

① 来年度以降、佐賀県・東北被災地県との地域間調整は不透明のなか、関係機関と連携し、新たな契約先を確保して

作付け面積の増を図るべきでは。

② 加工米・輸出用米等、非主食用米の拡充を。

**市長**  
① 当面は地域間調整せざるを得ない。関係機関と連携し取り組む。  
② 加工米、米粉、輸出用米等、農家の方へ理解を求め拡充を図る。

**指定管理者制度の今後は**  
① 民間活力を生かし、公募を中心にしては。

② 選定審議会に外部の識者を入れて、公平性を。③ モニタリングを導入したが、今後の活用は。

**市長**  
① 市民の評価が得られるよう拡大していくが、新図書館等制度にそぐわない施設は市の直営で運営する。  
② 施設により、必要に応じ柔軟に対応する。  
③ 今年度試行的に15施設で導入、今後本格的に進める。

# 災害復旧のための工程表を早急につくるべきではないか

**答** 早急に地区に提示したい



鈴木 一 議員

7月29日・30日と旧塩沢地区の被害状況を見て回ったが、被災地区の区長の顔を見ると悲痛な顔をしている人がほとんど

だった。地区の人達からの要請に対応を苦慮していたのではないかと感じた。一週間もご飯がのどを通らないという区長もおられた。

今たいていの地区では区長になり手がない中、この大変な時期に区長として奔走している姿は、何か手助けをしてやりたいとの気持ちになった。

8月の早い時期に市長から被災地区を見回っていただいた。市長の顔を

見て区長はもとより、地区民の皆様の顔がほっとしたように見受けられた。被災地区ではどこから手をつけていいのか全く判断がつかない。災害査定前でも後でもいいが、被災地区へ復旧のための工程表を提示することで、地区の人達の不安も少しは解消すると考えるが、市長の考えは。

**市長**  
市の担当部、県の地域整備部、国の湯沢砂防の3者で8月30日、災害復旧の連絡会議を立ち上げた。10月までに災害査定を終え、その後早目に各地区へ工程表を提示したい。  
農地等の復旧では作業が大規模となり、来年の減反扱いが発生する懸念もあるが、作付けに間に合うよう力を尽くす。



国道 291 清水地内



稲川教室

# 原発依存さようなら

**答** 自然エネルギー普及も難しい



**岩野 松 議員**

福島原発事故の収束が見えず、ホットスポットや米は大丈夫かなど、放射能汚染におびえ、深刻な影響を及ぼしている。

原発依存でなく、自然エネルギーに替えるべきでないか。市の取組計画はあるか。環境省は原発の40倍、総発電量の10倍の自然エネルギーの可能性を示した。

**市長**

国の数字を信用しない訳でないがそう簡単には進まない。自然エネルギー普及は原発をやめる位難しい。CO2削減計画は昨年策定したが、市内で雪国に合う太陽光発

電の試験中だ。また、実験中の上町住宅の今冬の結果を見てからにする。

## 十二沢川改修、水害対策あったか

十二沢川改修、水害対策あったか  
駅西側の雨量を全部のみこむ十二沢川は水害常習地だ。最難関の場所での水害だ。そのための対策はあったのか。商業地への救援は。

**市長**

河内医院の旧中は5・

8㎡で酒倉橋の通水7㎡で工事前中と同じである。予想以上の降雨量だった。公共事業は減額され続けている。商業地への救済の制度がない。

**岩野**

庄之又川の氾濫は、河川内に工事用道路を作ってしまったのが主因ではないか。対策せよ。

**市長**

直接の原因とは考えにくいですが、二度と起きないように取組みたい。

# 総合計画を先送りし、安全・安心なまちづくりを優先せよ

**答** 復旧最優先のために 特別債延長を求めていく



**笠原喜一郎 議員**

7月末の大雨は当市にかつてない程の大災害をもたらした。激甚災害指定を受けてこれから復旧作業に入る。建設業者に

復旧優先で取り組んでもらうためにも、緊急性のある事業は別として、総合計画の先送りをしてでも、安全・安心のまちづくりを優先すべきである。先送りした分、合併特別債の活用期間の延長を強く国に働きかけよ。

**市長**

春までに復旧したいと考えているが、業者が対応できるかどうか。合併特別債の延長には新しい法律を作る必要がある難

## 入湯税を誘客を図る施策に活用せよ

入湯税を誘客を図る施策に活用せよ  
東日本大震災の影響を受けて入湯税が大幅に落ち込んでいる。観光施設はお客がいてもいなくて

も固定費が大きい。お客を増やすことが一番の生き残り策だ。市では観光PR事業として2、600万円支出しているが、

総花(そうばな)的な事業である。目的税である入湯税を、温泉に「健康(湯治)」と「食」を組み合わせて誘客増を図る政策に直接活用すべきである。

**市長**

年々入湯税が減少しているのは事実である。観光振興事業費9、300万円の中に入湯税も含まれている。ホテルなどだけに入湯税を該当させて政策を実施することがいいのか、少し疑問が残る。



六日町市街地を流れる十二沢川が氾濫



# 総務文教委員会

○期日 平成23年7月13日

○調査内容

①消防業務について（含 現地調査）

湯沢消防署を現地調査後、南魚沼市消防庁舎新築工事状況を調査しました。平成23年9月供用開始を目指し、スケジュールに基づき順調に進んでいます。建築面積は約2,030㎡、女性専用の仮眠室やトイレを設置し、今後は女性隊員も採用可能となります。その後、3月14日から東日本大震災への出動状況、および管内の火災件数、救助出動、救急出動等の状況を調査しました。

②市税について

平成23年度調停状況について調査しました。5月末の調定額は76億2,916万円で、前年より2億930万円ほど減少しており、主な要因は個人市民税と市たばこ税の落ち込みです。また収納状況については、収納率97%で前年より0.3%アップしています。

③図書館建設計画について

市は六日町街づくり株式会社があり、所有する「ララ」の一部を買収し、区分所有する方向で六日町街づくり株式会社、新潟県、独立行政法人中小企業基盤整備機構と協議を進めています。

平成23年6月議会で、土地・建物評価額および退店補償額調査委託の1,700万円を予算計上し、今年度中の図書館整備の実設計画完了を目指しています。



新消防庁舎の建設

# 総務文教委員会(管外調査)

○期日 平成23年7月21日～22日

○視察先および調査内容

①長野県上田市（市民との協働による上田情報ライブラリーの運営）

上田駅前の商業ビル4階を市が購入し、市民の「駅前図書館」の要望に応え新設。一日平均600人が利用。大きな特徴は、市直営の図書館を市民のNPO法人上田図書館倶楽部（会員70名）が協力して運営していることです。市民協働の図書館づくり、千曲川地域文化の創造と発信、暮らしとビジネス支援という3つの基本コンセプトが明確で、喫茶ルームもある市民サロン、他市町村や長野大学など9公立図書館とのネットワーク化による本の「取り寄せ検索システム」、豊富な「絵本コーナー」、市民が依頼する調査照会を行う「レファレンスサービス」、各種の「文化講座やセミナー」、これら様々な活動をNPOがコーディネートし、市民サービスの向上を目指しています。我が市の新図書館の運営内容に活かしたい取組が多くありました。他に、上田市のスポーツ振興計画、自治基本条例について調査しました。

②長野県松本市（指定管理者制度）

自治体の「公の施設」管理を外部に任せられるとした同制度。全国で制度導入が進められていますが、様々な問題点も指摘されています。

「丸投げや民営化ではない」ことへの市職員の強い意識の有りよう、その具体化となる「運用事務マニュアル」の完成度の高さに驚かされました。公平性の観点から管理先の選定審議会は外部委員が主体（7名中5名が外部／我が市は職員が主体）で、その審議過程や結果の徹底した公開性。過度の低価格競争や無理なコスト削減は利用者のサービス向上につながらず、雇用労働条件の悪化も招くとし、管理料の制限を提示。収益性の高い施設には利益の納付方式を導入。モニタリング監視制度の徹底。この制度趣旨に沿った運用レベルの高さが顕著であり、我が市の今後の取り組みに大きな示唆を与えるものでした。

他に、

松本市の  
防犯条例、  
緊急情報  
配信シス  
テム「安  
心ネット」につ  
いて調査  
しました。



上田情報ライブラリー

# 産業建設委員会

○期日 平成23年8月5日

## ○調査内容

### ①六日町街づくり株式会社について

(含 現地調査)

六日町街づくり株式会社社長、役員及び事務局長から会社の現状について説明を受けました。

平成22年度の売り上げは、2億1,577万5千円で前年比96.8%となっております。現在空き店舗が3区画ありますが、市立図書館誘致の関係で空き区画のままとなっております。

図書館誘致については、取締役会として全面的に受け入れることで決定しています。テナント会にも8月2日に取締役会から説明を行っています。今後、市と会社と買取金額の交渉が行われます。

### ②道の駅について

農産物・特産品直売所の整備については、総事業費1億9,300万円、県補助金9,300万円となつていきます。

6月の臨時会で、直売所の指定

管理者を「しおぎわ農業協同組合」に決定し、平成24年6月に直売所

プレオープン、平成24年夏に道の駅ブランドオープンを予定しています。

今後は、生産者組織の設立、特産品協会との連携、施設運営への協力者募集、誘客イベントなど計画的に取り組みます。

### ③その他

産業振興部長、水道事業管理者兼企業部長及び建設部長より、豪雨災害状況報告を受けました。  
(内容省略)



建設中の道の駅（今泉博物館前）

# 産業建設委員会(管外調査)

○期日 平成23年7月25日、26日

## ○視察先および調査内容

### ①石川県七尾市「多目的グラウンドを活用した観光誘客について」

七尾市は当市と同規模の人口であり、少子高齢化が進む市です。有名な和倉温泉でも、能登沖地震・リーマンショック等の影響で旅館の集客はピーク時の167万人から83万人に減少しました。

温泉組合の強い要望の「人工芝サッカーグラウンド」に市も応え、交流人口増を目的に、観光交流拠点として「七尾市和倉温泉多目的グラウンド」を建設しました。

建設には合併特例債7億5千万円を利用。大グラウンド3面・小グラウンド2面・周回ランニングコース700m・駐車場104台。石川県内有名サッカー校の先生のコネクション等で、有名校あるいは日本代表などの合宿参加により多くのチームが合宿に参加することは、長野県菅平の大学ラグビー合宿の構図に似ていますが、設備の充実が大前提となります。今後、学校の統廃合による空きグラウンドに天然芝を植え、積極的に大学サッカー部の誘致活動をします。七尾市では毎年和倉温泉へ事業費として、1億円を拠出して活性化に努めています。

### ②新潟県糸魚川市「B級グルメによる地域活性化について」

糸魚川市はフォッサマグナの西端

にあり、「世界ジオパーク」に日本で初認定を受けた市です。糸魚川地域振興局の提案により、地元で考えた「糸魚川ブラック焼きそば」を地域活性化のシンボルとして立ち上げました。少子高齢化が進むことから、市としても活性化のための具体策を急ぐ必要があります。

行政は活動資金の支援だけでなく、官民一体で取り組みます。振興局と市は理事の一員として活動し、広報活動、特にマスコミへのアプローチも担当。市長も多面的な食を追求してほしいと職員の尻を叩いています。

※七尾市・糸魚川市での共通点は、  
1. 市職員の市活性化に対する姿勢、強い熱意。  
2. 全ての受け入れ窓口として「観光課」がある。

3. 少子高齢化による人口減少が止まらない。  
4. 南魚沼市の悩みではあるが、北陸新幹線に誘客の期待を寄せている。

当市にとつて参考になることが多いです。この視察をどう活かすかは我々の手腕にかかると思っています。



七尾市和倉温泉多目的グラウンド



# 社会厚生委員会

○期日 平成23年8月9日

## ○調査内容

### ①浦佐認定こども園について

浦佐認定こども園は、4月1日に幼児保育と教育だけでなく、学童保育、病後児保育、子育て支援センター等の機能を有する総合的な施設として開園しました。

公設民営の指定管理方式で、定数は180名。病後児保育の登録数は現在20名。学童保育は最大収容数が50名です。

子育て支援教室は週5日間開催で、利用料は無料。

### ②六日町認定こども園（仮称）の設立について

事業者は学校法人里咲学園ですが、余川保育園と六日町幼稚園を一緒にした形の幼保連携型の認定こども園で、平成23年10月から24年12月までの2か年継続事業で建設されます。定員は186名。

### ③保育の現状について

現在市内には、公立、私立を含めて26の保育園があります。職員は、年度当初は正職対臨時の割合

は、概ね6対4で配置します。

保育料は細分されていますが、同時入園で2人目は半額、3人目が無料。18歳未満の子供のいる家庭の20%軽減など軽減措置も行っていきます。

### ④病院の運営について

病院では、市立病院群のあり方の検討が進められています。「地域医療とは」、「市立病院群の規模と位置」などを検討し、医師自らがやりたい医療、できる医療を集積して、医療現場からの新たな方針やビジョンを導き出します。

### ⑤その他

市民生活部長、福祉保健部長より、豪雨災害状況報告を受けました。（内容省略）



六日町幼稚園

# 社会厚生委員会(管外調査)

○期日 平成23年6月28～29日

## ○視察および調査内容

### ①長野県軽井沢町

#### ・有害鳥獣の被害防止について

サルに対しては対策専門員が2名おり、他5名の臨時職員により365日追い払いをしています。

ツキノワグマはNPO法人に委託し、24時間体制の追い払い監視活動を続けています。鳥獣対策費として年間5千万円を計上しています。

#### ・ごみの分別リサイクル化について

軽井沢町は保健休養地として観光客、別荘地などにより、夏は冬より670トンも可燃ごみが増え、差が大きいです。

平成22年度はリサイクル量2、558トンで、リサイクル率33.6%となっています。町民の分別意識が高く、分別は18種類を実施しています。

#### ・「木もれ陽の里」平成19年4月開館

この施設は保健福祉総合施設で、保健部門と福祉部門がワンストップで利用できます。5つの部門があり、保健予防部門、保健増進部門、障がい者支援部門、高齢者支援部門、交流多機能部門で構成されています。

健康増進により要支援、要介護出現率が13.37%と、全国平均の16.82%よりかなり低くなっています。

### ②長野県安曇野市「安曇野赤十字病院について」

平成22年12月新築。安曇野市には5病院があり、「松本保健医療圏」の二次医療圏に属しています。病床数321床（一般病床270床、リハビリ病床45床、集中治療室6床）、常勤医41名、診療科目16科、7対1の看護体制でベッド稼働率93%超であり、利用者は安曇野市をはじめ隣接の8市町村からがほとんどです。

平成19年9月より救急専任医師を招聘し、救急部を新設。患者増につながっています。信州大学医学部と連携し、安曇野赤十字病院を地域の循環器科の拠点とするよう進めています。



安曇野赤十字病院

	桑原圭美	林茂男	鈴木一雄	塩谷実	小澤実	黒滝松	中沢一博	山田久勝	今井美晶	牧野晶	佐藤剛	寺口彦	関常幸	井上智明	樋口和人	関昭夫	腰越晃	阿部俊夫	阿部久夫	牛木芳雄	笠原喜一郎	中沢俊一	岩野松	岡村雅夫	若井達男	松原良道	
	政	歩	歩	歩	み	み	み	政	政	歩	民	民	み	み	み	政	政	政	歩	民	か	か	共	共	み	み	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	※	-
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○

その他全会一致で可決した議案

【9月議会】

- ・新潟県市町村総合事務組合規約の変更について（7/11 臨時会で議決）
- ・専決処分した事件の承認について（平成23年度南魚沼市下水道特別会計補正予算（第1号））
- ・専決処分した事件の承認について（南魚沼市学習指導センター条例等の一部改正について）
- ・南魚沼市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の一部改正について
- ・南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市税条例等の一部改正について
- ・南魚沼市都市計画税条例の一部改正について
- ・平成23年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・平成23年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・平成23年度南魚沼市下水道特別会計補正予算（第2号）
- ・平成23年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第1号）
- ・平成23年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第2号）
- ・市道の認定について
- ・市道の路線変更について

【会派名称】

- 歩：歩む会
- み：南魚みらいクラブ
- 政：市政クラブ
- 民：市民クラブ
- か：かたくり
- 共：日本共産党議員団

	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-	○	○	※	×
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	○	○	※	×
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	※	○
	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	○	○	※	○

	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	-	○	○	※	×
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	※	○
	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	※	○

意見書  
提出しました

- 「郵政改革法案」の速やかな成立を求める意見書
- 私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書
- 拡大生産者責任（EPR）とデポジット制度の法制化を求める意見書
- 合併特例債の起債期限の延長を求める意見書



# 9月議会の全議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

議員氏名 (議席順)	会派
	採決結果

## ◎議案

南魚沼市農産物・特産品直売所の指定管理者の指定について (7/11 臨時会で議決) …しおぞわ農業協同組合を指定	可決
専決処分した事件の承認について (平成23年度南魚沼市一般会計補正予算 (第2号)) …豪雪災害応急復旧関連補正	承認
南魚沼市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
南魚沼市一般旅券発給事務印紙等購買基金条例の制定について	可決
南魚沼市浦佐福祉の家条例の制定について…旧浦佐保育園が福祉関連施設になります	可決
平成22年度南魚沼市一般会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市老人保健特別会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市下水道特別会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市水道事業会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市病院事業会計決算認定について	認定
平成22年度南魚沼市一般会計補正予算 (第3号)	可決
工事請負変更契約の締結について (南魚沼市消防庁舎建設工事請負契約の変更について)	可決
財産の取得について (南魚沼医療福祉センター駐車場用地) …基幹病院建設用地の現大和病院駐車場の代替駐車場用地	可決
財産の取得について (CD-II型 消防ポンプ自動車)	可決
南魚沼市トミオカホワイト美術館の指定管理者の指定について…南魚沼市文化スポーツ振興公社を指定	可決
工事請負契約の締結について (南魚沼市民会館舞台照明設備改修工事)	可決
財産の減額譲渡について…旧浦佐幼稚園敷地の一部を医療法人社団萌気会に公益性があることから減額して譲渡	可決

## ◎請願・陳情

自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書提出に関する請願 (請願者：原発問題住民運動新潟県連絡センター 代表 関根征士) (紹介議員：岩野松)	不採択
「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことをもとめる請願 (請願者：消費税廃止新潟県各界連絡会 代表 能登惣五郎) (紹介議員：岡村雅夫)	不採択
「郵政改革法案」の早期成立に関する請願 (請願者：内藤貞治) (紹介議員：鈴木一)	採択
「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情 (陳情者：新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村直美)	採択
拡大生産者責任 (EPR) 及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択に関する陳情 (陳情者：筑後市長 中村征一、大川市長 植木光治、大木町長 石川潤一、環境自治体を目指すちっこ委員会 委員長 荒木フサ子)	採択

## ◎議員発議案

自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原子力発電からの撤退を求める意見書の提出について (提出者：岩野松)	否決
「郵政改革法案」の速やかな成立を求める意見書の提出について (提出者：鈴木一)	可決
私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書の提出について (提出者：関常幸)	可決
拡大生産者責任 (EPR) とデポジット制度の法制化を求める意見書の提出について (提出者：小澤実)	可決
合併特例債の起債期限の延長を求める意見書の提出について (提出者：関常幸)	可決
南魚沼市議会議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議 (提出者：牧野晶)	可決

# 中越地区9市議会

## 合同議員研修会を当市で開催

長岡市、柏崎市など、南魚沼市を含む中越地区9市の合同議員研修会が10月14日、当南魚沼市を会場に開かれました。7月末の豪雨で予定会場が大きな被害を受けるなど、8月下旬の開催を延期。ようやく開催に漕ぎ着けることができました。

主催者の南魚沼市議会は議員26名全員が出席。研修会の講師には、南魚沼市出身の前・新潟日報論説委員長の貝瀬正泰さんを迎え、9市事務局を含む総勢205名が、新聞を介した情報の分析や論理の組み立て方に、終始熱心に耳を傾けました。



新潟日報 前・論説委員長  
貝瀬正泰氏(当市 城内出身)



会場となった「ホテル越路荘」(六日町)

研修内容は明治初期の新聞の草創期に及ぶなど情報が作り出す世論創りの大切さを強調。最近の地方議会が、名古屋市や大阪府に見られるように住民への情報発信力等が首長に対し、弱くなった点を懸念していました。

また、新聞記事を読み「なるほど」と得心するようでは議員として論外。なぜ？自分は？当市は？など、疑問をもつ姿勢が肝要であり、2紙以上の新聞を読み比べることの大切さにも触れました。

これに対し議員からは「新潟日報は共同通信の受け売りが多くないか?」「原発事故の初期、国の報道規制になぜ乗った?」などの厳しい質問も続出。住民に対し、情報をいかに伝えるかという使命を担う「議会」の責務を、議員一人ひとり考える節目の一日となりました。

## 12月議会 予告

12月に市議会定例会を開催予定です。

日程のお問合せは  
議会事務局 (☎773-6650) へ。

委員長	佐藤剛
副委員長	小澤実
委員	林 茂
委員	鈴木 晃
委員	黒滝 一
委員	中腰 俊
委員	岩野 松

議会広報編集特別委員

## 編集後記

9月議会一般質問では、半数以上の議員が災害について質問を行いました。それほど豪雨被害が広範囲でありました。50年も釣りに通った近くの溪流も見るも無残な姿になりました。いつになったら流された岩魚が帰ってくるのだろうか。今では珍しい地元で生まれた、腹の部分がオレンジ色の「床岩魚」が棲んでいたがどうなったか。川を三面コンクリートで改修されれば、もう岩魚が棲むことはないだろう。魚が棲めるような環境の改修を望みたい。

来春にはミミズを持って釣りに行きたい。しかし、復旧も災害の大きさからいえば簡単ではありません。暫くガマンをしなければならぬかもしれない。必ず春が来ます。それまで待ちましょう。

編集委員 鈴木 一

